

古今俳諧明題集夏部目録

更夜	并拾	後初葉	五二	青蘆	二	抗摩祭	二
當麻祭	三	日吉祭	三	千栄園	四	加茂祭	三
松前波	四	短衣	四	麦焺	五	長駒寺	四
普暴風	五	魚鯨	六	剖葺	十	長月	四
新茶	五	鰯	十一	鰯	十一	新麦飯	五
布穀	後八至	螢	後十二	蛸	十二	杜鵑	後六至
鹿茸	十一	蛸	十二	蜘蛛子	十三	鳥祥巢	十
秋蠶繭	十一						
蚤	十三						

古今俳諧明題集夏部目録

目録一



新葉	ナニ
松魚	十四
芍薬	十六
嬰粟	十七
枇杷花	十八
蕃薺花	十九
野薺花	十九
卷心薺	二十
新藕	二十
篠筍	廿一
桐花	廿二
蝦	十四
溪鱸	十四
荻子花	後廿五
虞美人	十八
加佐久末	十八
野薺花	十九
苦苣	十九
款冬	二十
藕荷	二十
白薺花	廿一
桐	廿二
阿未加淑類鳴	十四
牡丹	後十四至
蜀葵	十七
鷲尾	十八
意波婦心	十八
續断花	十九
卷心芭蕉	二十
紫藤	二十
筍	後二十五
海苔花	廿二
撥桐花	廿二

滿庭枝	廿二
葉櫻	廿三
夏木立	後廿四至
加茂足齋	廿五
幟	廿六
五月晴	廿八
夏薺	廿九
復嶺	廿九
海松花	卅一
剪春花	卅二
金銀花	卅三
新葉	廿三
海櫻	廿四
木下晴	廿五
同競馬	廿六
粽	廿六
水鶏	廿九
毛狐鳥	廿九
鯛	三十
乾河豚	卅二
夏薺	卅二
夏毛薺	卅三
新旗根	廿三
夏柳	廿四
常葉木落葉	廿五
白葛葉	廿六
五月雨	後廿七至
水多葉	廿八
水多葉	廿九
夏薺	廿九
莎籠	三十一
百合	卅二
萱子	後卅三至
紅藍花	卅三

古今事考類聚卷之...

目録二

カヤツリシサ 鶉親艸 卅二
 アヲタ 青田 卅五
 ハ、キ、ビ 地膚 卅五
 ナスビ 紫茄 卅六
 アハ、キ、キ 蒙蔚 卅六
 ワカタケ 新竹 卅七
 テニリハナ 粉團花 卅八
 クキ、レ、チ 梔花 卅八
 クリノハナ 粟花 卅九
 ナ、シ、テ、ン、ノ、ハ、ナ 青毛燭花 卅九
 アヲサ、ン、セ、ウ 青山椒 四十
 ヒキヤウフ 石菖蒲 卅三
 タクサリ 耘 卅五
 イ、チ、ウ 苺 卅五
 ナカ、ス、ビ 水茄 卅六
 ミ、モ、カ、リ 菰刈 卅六
 サ、キ、ウ、ジ 杜鵑花 卅七
 ナ、フ、ノ、ハ、ナ 合歡花 卅八
 ハ、ナ、タ、チ、ノ、ハ、ナ 榴花 卅八
 サ、カ、キ、ノ、ハ、ナ 依家鬼波曲 卅九
 ハ、ナ、ユ 小抽花 卅九
 アヲウ、メ 青梅 四十
 タウ、ウ、エ 田植 卅四
 ア、カ、サ 藜 卅五
 サ、ツ、タ、ケ 早松蓼 卅五
 サ、ハ、ゲ 紅豆 卅六
 ワ、カ、メ、カ、リ 裙帶菜刈 卅六
 ア、ツ、サ、井 紫陽花 卅七
 ハ、ナ、ザ、ク、ロ 松栢花 卅八
 カ、ラ、タ、チ、ノ、チ 枸橘花 卅九
 ア、フ、チ 棟 卅九
 ア、ヲ、ユ 青小抽 卅九
 ヒ、ハ、ヒ 枇杷花 四十

ヲ、シ、ミ 葛 四十
 ギ、フ、シ、ノ、ミ、シ、レ、ア、ラ、ミ 祇園沖與洗 四十
 フ、ジ、ゴ、リ 不孝垢離 四十一
 フ、ジ、ノ、ユ、キ、ゲ 不二雪消 四十二
 ア、ツ、サ 暑 卅五
 カ、レ、カ、ホ、ル 薰風 卅六
 ク、ラ、マ、ノ、タ、ケ、キ、リ 鞍馬竹伐 卅八
 タ、カ、シ、ロ 箒 卅九
 サ、ラ、シ、井 浚井 五十
 ク、ズ、ミ、ツ、ガ 葛粉水 五十二
 ト、コ、ロ、テ、ン 瓊脂茶 五十三
 ヤ、シ、タ、ノ、ミ、タ、ノ、キ 山田御田麻 四十
 ヒ、ト、ウ、リ、ケ 破 四十一
 フ、ジ、ノ、ウ、ゲ 不二詣 四十一
 フ、ジ、ノ、ハ、ツ、キ 不二抄言 四十二
 ク、モ、ノ、ミ、子 雲峰 四十二
 ス、ミ、ミ 避暑 卅八
 ア、ギ、ギ 招扇 卅八
 ナ、フ、シ、ン 竹夫人 卅九
 サ、ラ、シ 曝布 五十
 ス、イ、シ、ン 殮飯 五十二
 ヒ、ヤ、ム、ギ 冷餅 五十二
 ス、ミ、シ、オ、ン、タ、ウ、エ 行吉御田植 四十
 ヒ、ム、ロ 氷窓 四十一
 ギ、フ、シ、ノ、ユ 祇園令 四十二
 ド、ヨ、ウ、ホ、シ 去用曝 四十二
 ユ、ラ、ダ、チ 冻雨 卅五
 サ、ト、ウ、ノ、ス、ミ、ミ 蟹者納涼 卅八
 ウ、チ、ハ 園扇 卅九
 カ、イ、カ、ウ 掛香 五十
 シ、ミ、ツ 清水 五十二
 カ、シ、ヒ 餉 五十二
 シ、バ、リ 練岩毛子 五十三

古今片哥明集卷之三

蝉 <small>セミ</small>	後五十三玉	飛 <small>ヒトリムシ</small>	五十四	鶺鴒 <small>ウツカハ</small>	五十四
川 <small>カハカリ</small>	後五十四玉	海 <small>ウキウキ</small>	五十五	鰯 <small>サバ</small>	五十五
海母捕 <small>ウラゲトリ</small>	五十五	藻 <small>カハホ子</small>	五十六	蓮 <small>ハスノハナ</small>	後五十六玉
菱 <small>ヒシノハナ</small>	五十六	葎 <small>サキ</small>	五十七	櫻 <small>ナゲシコ</small>	五十七
剪 <small>オモダカ</small>	五十七	地冬 <small>ツリカ子サウ</small>	五十七	鋸齒 <small>キリシサウ</small>	五十八
風 <small>フウラン</small>	五十七	梓 <small>クリンサウ</small>	五十八	虎 <small>ウキノシタ</small>	五十八
射 <small>ヒアフギ</small>	五十八	鼓 <small>ヒルカホ</small>	後五十八玉	壺 <small>エフガホ</small>	五十九
葛 <small>ツズノハナ</small>	五十八	凌 <small>ノウレン</small>	五十九	向日 <small>ヒコハリ</small>	六十
匏 <small>ハナヒサガ</small>	五十九	茅 <small>ハトトリクサ</small>	六十	甜瓜 <small>ミツハウリ</small>	六十一
芋 <small>ワタノハナ</small>	六十	藍 <small>アサカリ</small>	六十		
麻 <small>アサカリ</small>	六十				

百日紅 <small>ヒヤクニチベニ</small>	六十一	七 <small>チ</small> 滿 <small>マン</small> 紫 <small>シ</small>	六十一	仙 <small>セン</small> 吉 <small>キチ</small> 紫 <small>シ</small>	六十一
御 <small>ミ</small> 後 <small>ノチ</small>	六十二				

古今片歌明題集卷之三

目錄三

古今俳諧明題集夏部

更衣 并給 ころもくへ
あしせ

計のあはたむにぐぞゑらへ
 といほどに柳うごくやあろえらへ
 夏さやふ花偷ヌヒト見やこ詠もかへ
 物おとを袖のそとさや文衣
 大イモイ橋へ甜法にひひやあろえらへ
 瘦くそとけは秀る水衣
 飛て見くる石の栂園や文衣
 厨子タシスいづれ出づや更衣
 水汲をわくいろくやころえらへ

希因 大坂
 芳室
 全 凉備
 玉斧
 梅路 去小川
 谷水 加賀金沢
 後川
 洗雪

古今俳諧明題集卷之三

六 柝
 可 登
 六 柝
 一 紅
 祇 德
 竹 母
 汶 上
 上毛豊岡
 意 山
 伊 山
 洞 居
 笑 杯

去 路
 可 登
 青 藍
 上毛平塚
 魚 興
 東 起
 可 登
 山 州
 一 鼠
 破 了
 萩 丈

青簾

たれ

さうつふかにさるの歌やまの産
女房を極く出さるまをさる
備例ハ山のそよぶやあをまをさる

江 希 因
大 金 戸 谷
和 梅 人
芝 村

筑摩祭

つぐま

たぐ湯にかく水るはつる水

禹 貢

灌佛

とて伐さかしまをさるあ
たは 房
誰が孫と老は安は安あま佛せよ

江 戸 明
為 谷

子ハ水のた飲しがるま佛せよ
総持と夏はまゆひや華浄堂
水草は花もまらりま仏せ
棟くまをく人供一花房
音へくも穴に紙きや一仏せ
踊て水をめくはや華房
今煉の婆もまや佛せ
蓮池ハまをまつたは花房
歌ハまをまらりま佛
あろまにも様見せり仏せ
若あまの門の袂也佛せ

凉 備
全 弁
百 弁
河 坡
去 路
分 江
柳 波
雲 郎
破 了
信 濃 松 本
友 梅

日吉祭 ひえま

夜啼の雨とほり〜日吉祭 東起

加茂祭 かもし

参りをおりけ〜てはつマボ 去路

當麻祭 たいは

若後にもたむこは向や疎伏亭 東起
交通へ来〜息は地勢や疎伏亭 因山

千米團 せんた

千米團今や松栢の刃に代り 上毛岡野

夏駒牽 かつのこ

素約の森や御産をおびろり〜 涼備
約素や奇産にか枝の戸ハ志げ〜 百夫
駒素や旅ハある〜にき〜 汶上

松前渡 まつまへ

麦積〜松の的や 紅が嶽 奥仙臺
等水

短夜みどり

短夜や浅はるきづき月も思む
みどりや炭火たきぬ御垣ち
短夜や歩けりて夏之疲勞に
見どり夜や夏の夜にも涼ひたりむ
短夜や床のまゝ水ひたりにも

一紅
伊勢川等
浮石
李北
五菱
凉儀

夏月

なつのはる

雨音か夜へしりて夏の月
汲水爰のゑきてハ屋じりる忠目
白曉ハ水窓へ入ルれなほのつあ

下毛真因
龜文
凉儀
李趙

夜は月と朝しやそれと朝日山

瀾城

青暴風

あまの

と吹くは青暴風にもうさあ
夏も来ぬ露此林やまあ
夏も来ぬうさあ梅やまあ

梅路
江戸
麥譽
三楚

麥秋

むぎのあき

此日此露もあむあむ秋
人里へ出さくはむびり麦秋
麦秋も此露所なくあけり

青藍
萩露
伊勢
風喬

麦秋や一庄に一度は梅も有
色かゝり山あゝるを秋はず麦は秋
出づり家此回へど昔へは麦の秋
琴詩
芭叩
凉帟

新麥飯 まんに
まめり
麦飯はあはれどや秋をえそあづ
秋後庄に傳
兔由

新茶

象年(に)驚いと来は新茶は
新もあづり一庄乃一庄新茶は
巡礼乃定て出あ小新茶う那
圭宇
凉宇
西羊

山水は馬陸拂ふ亭新茶う那
奥州藤田
尹里

魚鮓

不ろ(に)腰うけそ急ぐ一庄鮓
菜(に)は地而く飯屋や一庄鮓
伯州多里
秋月
駿河
己令

杜鵑

不ろ(に)まづりしとて寐りあけを
おもしるい若をまうけそり杜鵑
おののねは寐りしとて寝よかやま
傘此(に)つとてとてやほはしとて
凉兔
凉帟
素園
野坡

夜に花も移れハ長一かき
ほろも菜も雲踏こは
引よ移て又これも尻也杜能
移愛り新衣皮鞋也かき
かきまひだまの空をやりし
結ひいし皆さげ愛也ほろも
やあぶしを衣れとおもひかき
うぐいもむむ色古衣也ほろも
畫きしと橋を越えぬほろも
作り度祥れうねり杜能
空つれと藤りゆく山也杜鵑

尾城 露川
可登
梅路
九阜
楚岫
江戸 百庵
涼傘
白枝
桐井
能登輪嶋 其葉

少りし歩の履衣を移もや
少りし歩の履衣を移もや
瀬田の橋を移も一はも
大佛も重なる年やほろも
衣此の移り故懐も衣人
衣此の移り故懐も衣人
ほろも衣の移りも衣を
うけと移り袖うたふも
移りし移り袖うたふも
ほろも衣の移りも衣を
かきまひだまの空をやりし
結ひいし皆さげ愛也ほろも
やあぶしを衣れとおもひかき
うぐいもむむ色古衣也ほろも
畫きしと橋を越えぬほろも
作り度祥れうねり杜能
空つれと藤りゆく山也杜鵑

後川
加賀金沢 禹洗
同金沢 江夫
舍桑
下毛足利 太阜
梅志
江戸 岸虎
信州松本 木路
同 鶴老
伊勢山田 左右記
東棠

有^レ同^レ之^レあ^レふ^レむ^レく^レ及^レや^レ不^レと^レき^レに
 那^レく^レさ^レ髪^レの^レ行^レ儀^レや^レ不^レと^レき^レ次
 ほ^レと^レき^レは^レ拙^レ摩^レ乃^レ耳^レは^レあり^レの^レ時
 ち^レや^レ云^レと^レ結^レし^レふ^レつ^レや^レほ^レと^レき^レは
 齋^レ沙^レ菓^レへ^レ粗^レ率^レを^レ奈^レう^レそ^レふ^レと^レき^レす
 終^レ心^レを^レま^レご^レの^レを^レ周^レ一^レほ^レと^レき^レは
 齋^レの^レ最^レ持^レと^レく^レに^レ一^レや^レと^レき^レは
 月^レ此^レ眼^レを^レや^レの^レ進^レく^レ細^レ一^レほ^レと^レき^レは
 ほ^レと^レき^レは^レ村^レニ^レツ^レニ^レツ^レと^レ急^レ終^レ中^レ一^レ
 の^レあ^レろ^レを^レに^レ麻^レを^レ曉^レや^レ不^レと^レき^レは
 茶^レれ^レと^レ茶^レ此^レ一^レ滴^レや^レ一^レほ^レと^レき^レは^レす

杜 莫
 左 琴
 麥 林
 温 故
 素 花
 讚 岐 高 松
 周 雨
 越 後 雨 善 寺
 一 紅
 江 戸
 瀧 魚
 伊 勢 山 田
 夏 陸

割 膝^レ一^レ衣^レ色^レ終^レよ^レぞ^レ中^レと^レき^レす
 日^レの^レあ^レて^レ思^レを^レ此^レ終^レび^レや^レほ^レと^レき^レは
 ち^レを^レま^レり^レよ^レい^レ智^レも^レ如^レと^レほ^レと^レき^レは
 ほ^レと^レき^レは^レ長^レう^レ居^レく^レ如^レと^レほ^レと^レき^レは
 乃^レく^レあり^レ乃^レ方^レ周^レ此^レ七^レ也^レ不^レと^レき^レは
 と^レす^レと^レき^レは^レ一^レ也^レほ^レと^レき^レは

一 鼠
 百 卉
 青 藍
 冠 子
 乙 路
 京
 風 狀

布 穀 かむこ
とり

かむ^レこ^レを^レ衣^レを^レま^レび^レし^レい^レう^レ飛^レて^レり
 門^レ志^レ免^レて^レ傳^レを^レ入^レり^レあ^レり^レん^レこ^レき
 及^レて^レ一^レ里^レ一^レや^レかん^レこ^レき

麥 林
 曾 平
 涼 帛

画馬殿くふりー位やかむごさり

可御

母乃とまろし叶ふもああらんこそ

出羽林田 東

薯蕷の敷とるれハ井ありあ教

笑林

くんこそ帯一や圃此秋乃 習

青藍

かむこそ舟をむうふを器小居る

鳥醉

の世こそあさひーけれも耳の取

白枝

有まばー山り曇るもくんこそ

芙蓉

旭ほと人きりふああむこそ

柳居

笥は出て居依ぬ突やんこそ

琴詩

葉田去此りふこそあてかむこそ

深魚

午時飯乃談合あや くんこそ

越前 文路

ゆくもれも日乃結はうりかむこそ
あてくも人もおあつぬーかんこそ

冠子 一鼠

割草 ぎやう

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

高月

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

可由

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

玉斧

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

洗雲

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

仙衣

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

雙飛

あつてくも人もおあつぬーかんこそ

去路

古今詩明集卷之二

涼
帛
眠
石
麥
林

鳥辭巢 とらね

胡梅花
綴
接
入
先
飛
了
告
天
子
此
在
心
中
也

養
麥
瀾
城
下
毛
那
須
百
尋

鹿莖 つくろ

涼
帛

涼
帛

眠
棠
竹
石
維
鳩

蝙蝠 ほろ

百
舟
眠
石
破
了
一
鼠
白
枝
江
戶
什
國

古今詩明集卷之二

古今和歌集卷之三

かゝはるまの梅たのぬさかろく村へ出依
涼素
梅福や赤の梅さすの之相もさうら
涼俗
うはひもや画るまきへ方をうけて居る
青藍
梅福や己う目不どふりのを冷らひ
江舞巾

粟もせぬおまーらへはうひこかか
江 梁山
卵のふもく家をとまをかいこらな
江 奇雲
卵く縁もさうなうひあな
笑林

天蟲蛾 のつひか

天蟲 ぬこ
のまゆ

涼ーさも 雲ささくもやう満り入
柳雲

螢 ぼる

冷ひささくもささくもやう満り入
李 蕪
為終くうちうけてのくさう那
去 路
され奈へ水あらくも礼くさかぬ
涼 宇
淡紙ののりドもほろろぬ
其 梅
湖氷何隔多きまもやなたふの舟
涼 俗
羨雲人の一答もいふをさるが奈
雪 叩
小息如此あ小いさうらうがらふ
杜 門
あはさうに女たのまむほろぬり舟
白 枝

古今和歌集卷之三

奈舟を在^カ朽^クし^クほ^クる^クの^ク子^ク
糸^クの^クた^クふ^ク心^ク言^ク残^クえ^クは^ク朽^クか^クた^クる^クく^ク
蒲^クの^ク穂^クを^ク燈^クに^ク照^クる^クほ^クの^ク光^クの^ク如^ク
隻^ク袖^クは^クえ^クや^クけ^クり^ク等^ク々^クさ^クか^クし^クる^クの^ク衣^ク
扇^ク扇^ク乃^ク麻^ク眼^クや^クぬ^ク糸^クを^ク飛^クは^クる^ク
故^ク懐^クの^ク心^クを^ク新^ク母^クに^ク持^クた^クる^クの^ク如^ク
善^ク心^クを^クも^クつ^クる^ク色^クを^ク花^クに^ク似^クる^クの^ク如^ク
水^ク草^クを^ク洗^クひ^クか^クま^クす^クや^ク飛^クは^クた^ク如^ク
雲^クを^ク花^クに^ク似^クて^クま^クる^クを^クほ^クる^クの^ク如^ク
浮^ク雲^クの^ク如^クく^ク花^クに^ク似^クた^クる^クの^ク如^ク
水^クを^ク洗^クひ^クか^クま^クす^クの^ク如^クく^クほ^クる^クの^ク如^ク

麻父
雲郎
六持
涼素
雞山
下總多古
竹鶯
越前
可昇
阿僧
如

湖^クに^ク満^クち^クは^クる^ク水^クの^ク如^ク
う^クさ^ク草^クに^クつ^クま^クの^ク出^ク来^クの^ク如^ク
寺^ク中^クに^ク延^クび^クた^ク燈^クの^ク如^ク
い^クく^クい^クも^ク橋^クの^クか^クく^クの^ク如^ク
化^クし^クて^クは^クる^クの^ク如^ク

涼
上毛前橋
不霜
大和芝村
素絢
笑林
青藍

蠅

糸^クの^ク如^クく^クは^クる^クの^ク如^ク
雨^クの^ク帷^ク席^クを^クお^クり^ク

去路
超波

蚤

びーらゝのバ反へそりぬがらんか
 重門へは若れ出くまほ牡丹か
 月の出く暈はーかちほ牡丹か
 目うつりにあうりは寝ほがらんか
 さーらげく枝はーへれ牡丹か
 偃臥を存乃かくるばたむうか
 杉戸く獅子はあまびく牡丹か
 傳年のあも奥あれがらんか
 美濃にそをよそやる牡丹か
 阿帯ぶを遊出もがらんか
 降くを府につふばらんか

麥舟
 涼宇
 李北
 白陀
 其梅
 一鼠
 雞山
下総佐原
 五城
 琴詩
 可卿
下毛足利
 潑竹

挿巻に柱のかそほほらんか
 閑山を敷いこかくれ牡丹か

山州
上毛桐生
 舊礎

芍薬

芍薬やサ日あうえぞ舞えらんか

氏金崎
 立鼠

熨子花

遍照ハ船もつるる
 負ふこ子ほあへる歩ーか起つる
 けりあうと橋うへそあうくさほづ
 用のあほ水何そあ歩いてあさはづ

希因
美濃
 吟水
 雨鼻
越後高田
 梅雨

響梁のてこく流る加炭於堅多
 可石 可也
 陸ふとる水を蘇やうつはこ
 可也
 水際に柳旁かのきやか或はこ
 涼併
 割れハ魚はこるさの義はこ
 棠江
 是く教く御地也や加或於堅多
 希因
 懐に留ぬくさあまうさつり
 柳居
 水青の流く海河やかさほむた
 露田
 蓮子花紫友のほぐさ池小敷く
 如本
 体はのさめく存くやうさつり
 伊勢山田
 濁承りど雨ハ降れどもか或はこ
 同 宇治 尺
 響け子のゆつ対や下炭於堅多
 加賀金沢 五

泉ふく木在也しそふ文川た
 下總八日市場 士 鳳
 萩しに川ふもあちうたつり
 白 山
 公家うしろ鞠仕体もかき川づ
 雙 飛
 鶺鴒も空にけありのさつり
 笑 林
 小雛の夜ハ嵐多ふ葉吹きた
 筑前福岡 白 杏
 確り来た下戸れ安や善子を
 祇 翠
 粗小水ぬあまをちや乾子を
 青 藍
 葉よも下りさるふ葉たしそ

蜀葵 ひあふ

ちるま上より答をほごすあふひう那

加賀 九 兆

加佐久留末

漢名未詳

あはれそふて蝶をよめをよめ風くるは
なまじり新をまはしや風久さま
吹きこもほもぬもれ風くるま
踏はまにおーやうれう風くるは
又ままは花のあはれやうま

江戸 冬花

武蔵野宮 眠石

溜水

青藍

冠子

意波婦知

漢名未詳

いもぬちや 松北日法乃之小さく
いもぬちや 松北日法乃之小さく
いもぬちや 松北日法乃之小さく

希因

和鳴

蕃薇花

やうび

堅石のいあふ岡門やまかーやうび

江戸 蘭臺

野蕃薇

はら

横糸のよけくぬもやむうび
同濟に袖ことまはやはかうび

去杉戸 二毛

眠石

續斷花

をど

刈にあふももまうびをうり花
ほの時まうびをうり花

大坂 温故

梅従

新藕 はまの
まろ

海にうひいねきまをうねうね

呈利
雨石

藕荷 はまの
まろ

先花乃度とほ蓮れ浮葉外
飛石のちづれい蓮をうそ葉外

涼体
後川

筒 たけ
のこ

筒やみどりいおともたをりれを
とけ乃こやゆねおふまをい親うね

常陸
雞山
潭水

とけのこや鬼の齒根葉——き

嵐雪

筒や水鏡ぎに出るまられを

去路

舟の子や長るに衛く枝う

雲即

たげれ予乃おろし毛やうは堀牛

涼袋

舟の子やまよぬれち盗ちり

李北

筒や短乃冷ふ衣正かきおかせ

奥列来打
一鼠

筒や何まをうまおて水た

湖秀

とけれこや何まをうまおて水た

破了

篠筒 たけ
のこ

とけ乃こや猪やうと根もたき海

越中魚津
倚彦

まゝ乃こや 湖乃おろしは ぬのつき

女 地錦

白荆花 まろの

う乃むハ云にも 満ちぬりうあ
うのまやうくにハ 暈とまをぬし
うけ花や清れ袖むをききも引
白荆花や清くささ 雲を
うまむ花や 枯くハ折留まを
うのう肌や 月あつ枝折くは
う乃即や 軸くぬ水もくこりれ

涼宇 楚岫 求古 鬼白 下谷八百市場 涼袋 古由 武本 白水

錦帯花 つなき

神垣ま田舎 袴折や 帯うつき
似蝶乃又挽く 膝や ぼろろつき
花うらま 窠のうらハ ぶぐ 垂く

斗白 凉湖 下毛那須 幽知

桐花 きりしの

堀邸ハ井戸に 櫛う 髪きりりの花
桐乃花小きの 櫛に枝を
糖ハ未だ似きと せはきりれ
きつてきハ 鳴くく 一おまら桐の花
葉の昼のおくく や 幾りれ

門瑟 凉袋 白枝 凉宇 胡周

とれ志里乃程も暮くち桐の花

大和生 晴 帆

頼桐 ひきま

婿^{ムコ}志^シ里^リ乃^ノ程^チも^モ暮^クく^クち^チ桐^{トウ}の花^{ノハ}

肥前平戸 免 延

吐 雲

桜桐花 めしん

掃^ハと^トの^ノつ^ツた^タの^ノ晴^ハる^ルを^ヲな^ニあ^ハ志^シゆ^クる^ル花^ハ

上列赤岩 度 江

満庭枝 けくて

半に水とる乃がほりてくすけ

曰高崎 呼 雪

新生葉 ちの

水^{ミヅ}系^{ケイ}屋^ヤの^ノ家^カ棟^{トウ}も^モく^クく^クとい^イる^ル新^{シン}葉^{エフ}は
花^{ハナ}さ^サく^ク海^{ウミ}花^{ハナ}め^メら^ラら^ラぬ^ヌり^リは^ハく^ク水^{ミヅ}
や^ヤり^リく^クに^ニ鐘^{カネ}乃^ノ出^デぬ^ヌる^ル新^{シン}葉^{エフ}は
咲^{サキ}き^キに^ニ森^{モリ}志^シぬ^ク水^{ミヅ}留^ルり^リは^ハく^ク
高^{タカ}低^ヒと^トら^ラく^クそ^ソの^ノ海^{ウミ}へ^ヘ留^ルり^リは^ハく^ク
樹^キ株^カと^トち^チあ^アら^ラく^ク見^ミる^ル葉^{エフ}は
葉^{エフ}も^モ木^キ乃^ノ中^{ナカ}り^リく^クま^マさ^サる^ルの^ノ花^ハ
葉^{エフ}も^モ花^ハの^ノ陽^ヒれ^レく^クの^ノ葉^{エフ}も^モう^ウら^ラな

李 北
涼 袋
玉 斧
涼 洲
其 梅
一 鼠
秋 瓜
一 鼠

上〜も鐘梅の重きりう〜

芭叶

新雄楓

へりか

御水流り水物持たぬ新雄楓
鞠垣下へ婿乃配り中口か〜
乳房〜眺望床やわ〜

涼袋 希因 去路

葉櫻

〜

葉極や中乃人老や〜
葉さ〜お西〜
葉修〜やもふあ〜

希因 似竹 雞山

實櫻

〜

実さ〜や花端〜
〜

温故 琳李

夏柳

なつや

夏とれ〜
〜
〜

一鼠 涼袋 乙路

夏水立

なつこ

可登にも水待人也
老一つ水も流毛也夏も
留波も馬也乃素水也夏も
あまのこけりもにハ
も枕一延の痕や
菅笠とさあ
目も傳へて松と
春もあまの流れハ
又つ多もも舞う
泉も乃夜もれ
雲も雲佛の徳も

可登
常陸小田
後丘
可由
涼袋
双飛
去路
三楚
白枝
荻丈
琴詩
起鳳

里卿
瀾城
李北
斗白
平胡

木下園

破了
雨篁
大鼻
阿波日知佐
文水

空のちみん葉ははるやとあつやと
木下暗き花のる乃降くあつる
碑ありあけ花露やにーや又
花よりーしよはる水や木下暗

涼宇
鳥久
足利
玄
眠石

常葉木落葉
とさろま
のれちむ

常葉木也しむけし露と忍とく霞
花あふもやもあけあう花中花

日向延岡
青
備前岡山
雲
麻

加茂足齋
わとのあ
しとく

たのまわらむとくあうも足とけく

京
麥
生

同競馬
くらま

れしあ鞘もさへし競馬

榑別魚崎
園
巷

白菖節
あやめ
のじと

泥足の糸ぐかりくやあやめし
あやめとさふハ源しき下にある
五日まぐ水とさふある阿やめし
十葉字氣につく日やあやめと
縁珍く推しとくあやめし
筆あくあやめしとくあやめと

麥林
志とん
桃隣
李北
下総多吉
鎌子
涼洲

古今片歌明題集卷之二

梅法に日影をひあはさるる河色
よよよもや、陸にちやの收、
山門に、喜つて喜色、
尚も、喜れとあくる、
東陽の、影を志つて、
少木川、あはさるる、
石も、一、影を、
此、れや、
挿、
五、
さ、

秋干
武杉戸
雁志
全飛
千竹
不席
司鮭
免士
京負徳
可也
米仲

梅屋に、
影、
尺、
五、
五、
五、
五、

王才
涼袋
破了
黄牛
笑林
凉袋

五月園

紫、
梅、
帰、

石見大回
邦石
孔圭

水鶏すゐけい

撥くりにあはれ乃はうね秋アキ雞けいの
鷄もたけけハ起おこるくひま、つらふ
たゝるあはれをたゞと志こころきあはれ鷄ハ
をけ形かたちアゝゝにあげる袂たもと離はなれ
之雲この雲の意こころと突つけをくひま、つら
るゝあはれ水みづつゝまきくひま、つら
うねあはれく月つき見みくゝるも鷄ハ
水みづあはれくゝくひまの志こころきくひま

青藍 萩路 二毛 涼傘 希因 可枝 信長のり寛のり之

煩鷺わづら

夏なつうもや沼ぬま田た小こ割われく作つくきくひ

周防すおう吹ふ

水鳥みづとり巢すく并なら浮う巢すく

鼓つづみけとも卵たまごハゝゝぬくひなうれ
水みづ鳥とりの意こころきくひま、つらふ
くゝあはれく水みづ鳥とりの志こころきくひま、つら
水みづ鳥とりの志こころきくひま、つら

涼袋 双飛 一色坊加賀金沢 蕪かほ守まも

夏なつ鷹たか 鷄けいも 鷄けい中ちゆうも 鷄けい也や 鷄けい中ちゆうの 鷄けい

維い鳩と

毛脱鳥 とぬけ

風乃ちよひ・あるとやとやぬけけ
像寛とゆきもあらしぬけけ

兔洲
西羊

喚起鳥収音 うぐひま

うぐひまや子にうひまけりまよ

白枝

复櫛 うづり

野村に吹くまはるやも
文りや夏の櫛場と大にあら
あ乃目よ火事やあ乃山まよ

正秀
梅路
破了

蝸牛 うご

雷ノ角びびりあやうつあ
角むまびきくあはひえと端牛
あはうくあへ池やうくあ
かこつあああ牛欄とあ
あはほご・貫女も角や端牛
柳くくあああ牛欄とあ
あはほご・貫女も角や端牛
あはほご・貫女も角や端牛
あはほご・貫女も角や端牛
あはほご・貫女も角や端牛

尾張
去路
能登
晚九
禹月
涼袋
阿坡
一音
紫苑

木角れちぬぬ磁るやうつあ
るそへのほけくし 如峰
之勝ころもよふ大肥やうつあ
百葉と掌くあまやうつあ
隣しう我思ふあごうつあ
耳塚に取しうつあ
蓮乃葉外よきあ 乙路
後多う角ハ消くしあ
あまううふあうつあ

乙路
如峰
為明
百井
涼宇
示行
乙路
乙路
乙路
乙路

莎雜
おは
おは

うたわやあつへ之海蔵あり
うたわやあつへ之海蔵あり

千山
千林

避蚊火
マカバヤ

壺^{ユラ}廬乃むせうひひしく蚊をくれ
むしくはれあつあのかや
惟光ハ涙あぼくうやうた
引裂くおまひきるあのみち
下ひりうあ^{ニホ}あ^{ニホ}あ^{ニホ}あ^{ニホ}
成たさあ我度も起くあ
あ^クあ^クあ^クあ^クあ^クあ^ク

希固
射堂
子鳳
玉斧
洗雪
涼体
五裘

前春蘿 ひげん

乾くふいたるやーみくひのむねあ

千林

夏菊 きく

まきやま川海と見えくまなく
夏菊にあまふつはやまほろろ
あつきくや杖つくやどの風はな

何坡
希因
花明

萱草

くさ

極ふえく藁荷もどろーのきれき

汶上

時よりも今いあはれあはれま
極むるやそーも忘れら
今知と見えくやなむあ忘れま

去路
近江日野
士高
凉字

金鉾花

ゆきーの葉かおく百金鉾を
歯ふあきくは名馬の敵やま新を

此君
周防三田尻
楽下

藤天蓼

また

あつびや嵐きくひ乃に花

奥州采折
一而

紅藍花 へいの

海風より物おもへとや 紅藍花
夕未の霞が肌を紅む 藍に紅たる
あはれくはもと紅あし 紅藍花
唇もくはぬ 紅藍花 紅藍花
るもくはぬ 紅藍花 紅藍花

江戸女 二蝶

とせ成

素園

涼袋

全

鵝觀州 かやつ

夏乃藤之や つかさど 物やうら

園花

石菖蒲 いさぎ

石菖蒲 眼如見え 一くられをん

周防山口 浦

田植 たう

うき人より 噂もあかけり 田植
まき人より 噂もあかけり 田植
つれより もあかけり 田植
抱くより もあかけり 田植
畔より もあかけり 田植
櫛落より もあかけり 田植
湖一踏より もあかけり 田植
新婦より もあかけり 田植

涼袋

太阜

素園

素園

涼袋

全

菊人

露竹

古今戸歌明題集卷之二

七日

挿^サ處^ト女^メや子^コ乃^ノ泣^ナくま^ク挿^サくゆ^ク
もも^モ捨^スく^ク居^イけ^ケを^ヲあ^アり^リた^タる^ルも^モ
手^テ中^{ナカ}り^リ藜^シと^トひ^ヒ一^{ヒト}粒^リ田^タの^ノ水^ミ
澄^スむ^ムす^ス下^シ班^ハ乃^ノ満^ミり^リた^タる^ルも^モ
兼^カに^ニ子^コと^ト女^メを^ヲ兼^カり^リた^タる^ルも^モ
山^{ヤマ}呼^ヨぶ^ブと^ト水^ミ鏡^{カミ}と^ト田^タの^ノ水^ミ

加賀 棄拾

涼 戸

上毛高崎 麥 仙

文 東

水 樹

五 棗

青田 ^あと

霧^キを^ヲ散^チゆる^ルも^モ田^タの^ノ水^ミ
流^ナる^ルも^モ田^タの^ノ水^ミ
水^ミ底^ソの^ノ田^タ螺^ラと^ト兼^カり^リた^タる^ルも^モ

涼 袋

信濃松本 寛 之

奥列二本松 一 声

澄^スく^ク水^ミ乃^ノ泣^ナく^ク田^タの^ノ水^ミ
乃^ノ尾^ビの^ノ水^ミ乃^ノ泣^ナく^ク田^タの^ノ水^ミ

涼 宇

免 士

転 ^たら

目^メ張^テる^ル老^コ瀬^セの^ノ水^ミ乃^ノ泣^ナく^ク田^タの^ノ水^ミ
水^ミ乃^ノ泣^ナく^ク田^タの^ノ水^ミ
男^オ兼^カり^リた^タる^ルも^モ

能登七尾 麥 風

上毛後園 其 由

素 論

藜 ^あり

枝^エ乃^ノ泣^ナく^ク田^タの^ノ水^ミ

出羽 呂 丸

地膚 きん

はききやいれく階除く掃もくは

上毛高崎
凌風

苺 いち

袂くく蟻乃あそくく心ちこく

出雲大社
もく

早松葺 さまつ

早松くけかきまけるも松ぼく里
老入りまく捨くあり子松葺

武加須
晴山

涼戸

紫茹 むらさ

Blank area on the right page.

葉末海にも色やゆるくく初めお花

肥前長崎
里楓

葉のゆきお花松葺や初めお花

貞休

魚板く解くくく初めお花

百夫

圃に今五色の薔薇赤くくつ那

太呂

十くくく花遊つくく初めお花

下毛那須
屋牙

水茹 みなが

初めお花くくくく初めお花

涼俤

豇豆 げん

尺度く虫乃掃く初めお花

上毛高崎
把菊

あまのこゝろをよみおぼしきうた

雲 郎

栗蔞 あかい
あき

栗あきもや 蔞乃拾ひいりたりぬ中

上毛高崎
自 楽

菰 刈 あこも
りり

ふゆのけむりもあきなり菰刈

豊前小倉
李 完

裙帯菜刈 はつらめ
りり

もろのけむりもあきなり裙帯菜刈

佐渡
南 竹

水底の輝きもあきなり

新竹 こゝろ
たけ

縮むに隠れおぼしきこと

武八王子
進 瓜

新舟も 刺体とあきなり

双 飛

今脱と袴もあきなり

笑 杯

柳ほど出てきあきなり

凉 袋

蟪蛄乃ほらきあきなり

雀 阜

新布や 西やあきなり

青 藍

風ぞきり葉を吹出さるあきなり

素 園

尺八乃ひびきあきなり

大和
珈 凉

ゆきさけの露ぬれあきなり

千 代

~~~~~と~~~~と~~~~や~~~~

江戸 千梅

新井や~~~~

帯河

~~~~

上毛前格 鼠

新井や~~~~

胡曉

杜鵑花

さつき

~~~~

江戸 女野菊

~~~~

涼洲

紫陽花

あぢら

~~~~

大阜

あぢらさなや~~~~

和水 紫苑

粉團花

ちま

~~~~

由 去路

合歡花

あはれ

~~~~

一紅 大和柳本 奥州張園 古笛

傾城ふおころされと思や一羽ふのむ

涼宇

柘榴花 くちあざ

大坂

碓もれふ蕪指ハ今やちをさる路  
実のさきく笑ひうけしちをさる

すの  
芭叩

梔花 のちちふー

筑後久留

くもなりやうみむく合観とみゆの友

羅洲

橘花 とふたち

橘やむうーゆりの家ふさく

再可

枸橘花 からたち

ううたらや苦ううひやど舞うる

奥州栗折  
得秀

栗花 くまの

傷損乃なる夏枯秋さや栗のむ  
よはひううあくやう栗乃舞

鳥林  
双飛

佐香幾農波奈 漢名未詳

人あうぬ神やさうきとくぬの友

江戸  
介我

棟あふ

じんまると棟や雨乃むくも

とせ

南天燭花あまてん

あまのむやさうとサキあ

雲和

小袖花こすべ

偷ヌスビト思おもをよくあうたれ花袖はなすべ

去路

青小袖あお

色乃鼻くくくく喜小袖こすべ

涼袋

下枝しもえーおきくまうぬ青小袖あお

涼宇

青山椒あま

息いきつひく國くに能のりく喜よろこ山椒やま

維鳩

青梅實あま

まき梅うめや男おとこ能のり凡たふも深ふかまるく流なが

双飛

枇杷實あま

枇杷あまに実みの入いるや味あじまねのる  
梅うめ好このの笑わらふや枇杷あま能のり冷ひやいふ

近江膳所

曲翠

東起

甚のい

素子実や一抱くハ夏も茶餅

下毛足利  
遼雨

山田御田扇

やまたのい  
あまがぎ

御田存持ぬ人ううあふあに

幾曉

住吉御田極

むじのい  
おんたうえ

吉日極女とよらにたうえうれ

ゆまけく乳ま人もと御田極うま

泉州堺  
南天  
下総佐原  
鬼工

祇園神輿洗

ぎおんのい  
あらひ

清水くつく涼子の夢や御輿昇

京一九

醴

ひけよ

猶乃まこ元今きくあひくう海

豊後球珠  
馬負

氷窟

ひむ

水もたけ包か成やひむらもま

忘れくハ梅見よたらや氷窟古

カクビウ 衣乃人偏結くく氷窟もあ

二日うく涼み出るや氷窟守

涼休  
麥水  
瀾城  
破了

不盡垢離 ぶじん

富士垢離や家とけいふ島肥より  
垢離へ来て是を教りあむに如新

江戸

孤屋 凉唄

不二詣 ぶにま

物を解けしやうふふの  
一日にわたりてわうふふの  
山の背に夏はくがわくふふの

乙路 下見川

東起 巳下

祇園會 ぎおん

祇園会やあはれにわんこ

如水

祇園会やあはれにわんこ  
祇園会やあはれにわんこ

洗市 六枓

不二雪消 ぶにゆきの

今解る雪やあはれにわんこ

凉唄

富士初雪 ぶしはつゆき

富士初雪やあはれにわんこ  
富士初雪やあはれにわんこ

凉唄 西羊 麥汀

土用曝どよう

母人の振袖どよう見たりわち用ほし  
瓜をえたる雞像ひきおぼしやち用ひ  
るやいさづけさあち用ほし  
眉尖トヤダカも獨トヤダの加勢トヤダやち用ひ  
令トヤダ痛トヤダ子トヤダは足トヤダ糸トヤダつたりわち用曝  
氷トヤダ窟トヤダやち砂トヤダ糖トヤダの代トヤダ治トヤダやち用ひ  
虫トヤダほしやちトヤダ原トヤダ山トヤダをトヤダ務トヤダまトヤダり  
片トヤダ獨トヤダ小トヤダをトヤダ張トヤダるトヤダやち用ひ

得牛 兔承 杉路 凉素 梅園 乙路 破了 凉字

暑さあ

逆逆人人者者ひひきき松松子子おおつつくくあありりささううれ  
馬馬乃乃尾尾をを急急ががししうう某某あありりををしし  
一念一念のの魚魚ももななららずずささららななららずず  
ううごごううだだににややららななららずず暑暑うう系系  
水水垢垢のの系系後後一一乃乃家家あありりささううおお  
あありりきき日日ややるる日日一一あありりきき日日ややるる日日一一  
本本らられれるる川川ののみみどどききあありりささううおお  
家家一一掃掃ううけけるるあありりささううおお  
出出ぎぎししひひのの家家ににあありりささううおお  
あありりきき日日ややるる日日一一あありりきき日日ややるる日日一一  
傘傘ののよよりりささううおおりりきき日日ややるる日日一一

江戸百太 洗雪 山城 荷葉菴 瑪曉 雨傘 斗光 破了 青藍 舊山 凉袋 全



鞍子花乃落傾<sup>レ</sup>一<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>な  
腰掛子袂のさぐ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
似城<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
蝶啼き<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
不二の雪<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
風鈴も<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
射<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
秋<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
清<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
才<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那  
そ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>の那

鳥林  
涼宇  
李北  
止弦  
雀  
加賀金澤  
布流  
大和柳  
蝶角  
秋午  
双飛  
京  
康千  
如水

あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
ま<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
卷<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
珊瑚珠<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
海<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
今<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
新<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
粘<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
木<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>  
牛<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>あつさ<sup>レ</sup>

北種  
越中  
虎角  
雲郎  
江利八幡  
帆保  
兔士  
全  
一鼠  
全  
雲和  
古由

川中に艾の如び於あつたな  
新株をさき見ろるる素  
影よつく後一節新あつたな  
あつたき日や指もされぬ  
鎌倉乃所ありしあつた  
川系子の四條を過る  
砂濼乃多きくあつた  
之井も新種も日乃と  
雲霞へ舞んてあつた  
秋懐ひとくあつた  
巻拍乃糸くあつた

深魚 西羊 春曙 素園 示行 宇秋 輕素 常陸小田 眠居 笑林 眠棠 雨篁

永年く柳へくあつた  
屋中く麻糸乃おほきあつた  
一志きりあつた

常陸真屋 秀橋 武本庄 女佳 月 五負

雲峰 くもの

野社に古教くあつた  
蛤乃傳あつた  
霽雨ハまどあつた  
逆くあつた  
あつた

北枝 其汀 川夕 麥林 涼依 梅路

古今詩明集卷之三

並、驚く、宇治乃夕日や、くもの影  
はあましく物とも見えぬ、空に花  
るに、く牛のま、あやしくも、花  
湖の、魚、ほ、く、ま、花、う、  
暑き日、お、わ、つ、く、や、ま、乃、  
涼、さ、の、か、つ、れ、は、く、ま、花、  
野も、朝、ぬ、あ、ど、く、も、花、  
西行と、款、下、あ、く、ま、花、

凍るや、人、く、も、く、れ、む、海、ま、く、

凍雨 だゆふ

宜中 武野上 長之 大阜 笑牛 秀陽 一 兔士 涼

ゆ、く、も、く、も、く、も、く、も、く、も、  
凍るや、瀬田の、日、折、乃、魚、く、由、く  
凍るや、る、戸、ま、登、の、お、も、  
ゆ、く、も、く、も、く、も、く、も、く、も、  
凍るや、冷、く、も、く、も、く、も、  
ゆ、く、も、く、も、く、も、く、も、  
ゆ、く、も、く、も、く、も、く、も、  
ゆ、く、も、く、も、く、も、く、も、  
凍るや、一、確、も、や、き、水、車、  
凍るや、お、く、も、く、も、く、も、

一鼠 青戸 上毛板鼻 文曉 六杓 伊勢山田 麥浪 乾什 去路 越後高田 鶏山 泰龜 破了 涼袋

古今詩明集卷之三 四十六

中少だちや 舟中 孤疎 孤人 子泣く  
凍るよ 蓮へ 丁班と 上ヶく けく  
雨石

薰風 かぜう

宇治く 出く 夏の 盡や 風 薫 終

長崎 路 圭

避暑 ひさみ

涼一 さや 袖へ ちり ちり 山 志 敷  
涼一 さや 水乃 中 ゆく 夕 けし せ  
夕子 あり 物 あり 夕 けし せ 夕 けし せ  
こ おも 孤 と おろ せ 石 あり 夕 けし せ

涼 袋  
止 絃  
許 六

護朽 珠子 梅 摩 ちり ちり ちり ちり  
あ ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり  
川 風 孤 鬱 と ちり ちり ちり ちり ちり  
礫 磨 の 葉 へ 卵 も ちり ちり ちり ちり  
鏡 衣 乃 紀 へ ちり ちり ちり ちり ちり  
桂 仕 古 の 人 ちり ちり ちり ちり ちり  
船 院 子 汗 ね ぐ ちり ちり ちり ちり ちり  
岸 ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり  
床 ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり  
葉 枝 ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり  
宛 將 橋 ちり ちり ちり ちり ちり ちり ちり

蘆 帆  
免 舟  
輕 素  
竹 浪  
琳 李  
上列高崎  
瀾 城  
怜 也  
素 園  
白 枝  
江戶 紀 影



角触人け裸くーくまふくふ  
文史

警者避暑 おどろきの

吾と探つく文おまきこの那  
古由

鞍馬竹伐 くらまのたけ

舟伐れまきハヤ 丹後漆 風

摺扇 あふき

孝行の蚊帳乃ふくれるあふきうら  
一鼠  
後うら かぶ 鬼のそよぐ何ふまこの那  
鳥谷

おとくも雲乃ぬける何ふまき  
系統務ッ 信列松本 澁りまきあふまきうら  
もち之て 奥列保原 名無敷 玉 何ふまきこの那  
折る持扇ハ 奥列保原 中 玉 何ふまきこの那  
こゝろ 奥列保原 漢画 玉 此暑き何ふまきこの那  
雀阜

團扇 あふき

老葉乃名をこく 加賀山中 先く 加賀山中 雲乃  
呵ふ時極子 加賀山中 何あハぬうまハこの那  
榊 加賀山中 乃 加賀山中 何ふまきこの那  
折れハ 加賀山中 何ふまきこの那  
祇 加賀山中 壺

牧中火曲りたるをよみ奉る

湖十

算 たらむ

あむむいそ結つ川もあむたらむ  
冷つことと一橋の陰やたらむ  
内外に森物津やたらむ  
紙乃箱懐少——たらむ

武羽生 青 藍  
我 后

西 羊 可 也

竹夫人 くだま

竹夫人いふにまふれとほひ——さよ  
夏ハ改改うらるる居るや——竹夫人

涼 休 維 鳩

涼く森百猫乃命婦や竹夫人  
まらられと子ハとよぎり竹夫人  
竹夫人いびき嬉ひ紙むつち——と  
抱紙やとら——向うも雪の膚

上列富岡 雲 岫

越高田 見 風 素 琴

鼠 丈

掛香 かけ

懸香也あへむえまらぬ人むな

季 吟

浚井 さら

浚井やまらるる瓜をワららるる

兔 士





後々馬能能出さし〜  
 先達乃わが川て志す〜  
 剛力能治掌〜  
 剃刀と髪〜  
 見〜ゆけと鏡乃たす〜  
 不不能新撰む〜  
 静飲〜  
 大名乃よご〜  
 心掌能書と陳〜  
 能出能同乃〜  
 能傍〜

一鼠  
 文東  
 東起  
 輕素  
 未了  
 麥水  
 江扇裡  
 入楚  
 能查七尾  
 宜考  
 秋午  
 買明

振袖者後〜  
 大能〜  
 あ〜  
 望乃能と名乃〜  
 小〜  
 空〜  
 飲〜  
 湯杖と思〜  
 能取能函〜  
 貯〜

一紅  
 瀾城  
 白枝  
 祇棠  
 以秀  
 古硯  
 画洲  
 可御  
 真列福嶋  
 柳水  
 斗光







古今詩林身集卷之二

海母捕 くらげ  
海母とる 産 孫がしる へいさき

噴岐高松  
壚 峯

萍 うき

萍やう水くハ実なる月影の  
うきくも 濯 くわ そくち女のいそ  
萍や 既沓のおもふ 孫とる へい  
うきくも 臨 りん ぬく 雲のせう  
うきくも 魚乃 掃 スヒカ 八重 萍  
うきくも へい へい へい へい へい

希 因  
全 筏  
双 飛  
江 戸  
換 鵜  
大 阜

うきくも へい へい へい へい へい  
蕨 わづら や 懸 か へい へい へい へい  
うきくも 柳 やなぎ へい へい へい へい

乙 路  
麥 林  
李 北  
洗 雲

藻花 もが

藻花 もが や へい へい へい へい  
藻乃 もが も 免 ドギヤウ へい へい へい へい  
藻乃 もが 葉 は 子 冷 ひや へい へい へい へい

江 戸  
群 午  
青 藍  
双 飛

菱花 ひし

古今詩林身集卷之二

古今詩林身集卷之二

藤乃涼涼取也 一の如  
夏秋形不 後涼也 善乃花

律國魚崎  
瓦冷  
南蘆

萍蓬州 ハクハ

かハ切多也 一掃息をつき込める  
岸、蓬、まの毛 一白をまねども物まを  
このハ切多也 猪頸も涼し 善乃く  
かハ切多也 猪頸も涼し 善乃く

加賀金沢  
岸呂

蓮花 ハクハ

蓮乃あけ 新糸の志くけやはす如母

志山

譬もよ 魚溜く 善くは 善くは  
水多れ 卵も 又好く 善くは  
好路と 肩祖 一も 善くは

羊魁  
洗雪  
青藍

剪刀州 ハクハ

ねも 解きのお刀にあくさる

肥後八代  
左嵐

鷺鷥州 ハクハ

鷺鷥も 善くは 善くは  
窟子も 善くは 善くは  
さきも 善くは 善くは

桐生  
宇冲  
肥前  
汝上  
尾紫  
貞

瞿麥 150

ちぢぢー ー 中身とくぢーくぢー 破了  
あでー ー 輪つふさきとあま

冠子

風蘭

風葉や 夏花<sup>1</sup>衣<sup>カ</sup> へ や 先りー 来<sup>2</sup>  
風蘭や 咲た心<sup>3</sup> 衣とあげ<sup>4</sup> ちやく

梅布 維鳩

地参 151

あやもき 衣<sup>1</sup> へ ー ちやく<sup>2</sup> のうと<sup>3</sup> 備<sup>4</sup> ー

李仁 義濃関

鋸齒葉景天 152

気極く 毛虫と<sup>1</sup> 好<sup>2</sup> ー ちやく<sup>3</sup> ー ー

紋上

射干 153

ひあおき<sup>1</sup> 衣<sup>2</sup> へ ー 花<sup>3</sup> ー ー ー ー  
花<sup>4</sup> ー ー ー ー ー ー ー ー

涼傘 出羽 風草

旌節草 154

くちん<sup>1</sup> ー 大<sup>2</sup> ー ちやく<sup>3</sup> ー ー ー ー

杉路

虎耳草 ツバキ

降るるものけりきやゆきおき

丹後漆  
仙壺

葛花 クズ

よ乃へおれをまきしるおむ

法路

おむるるを乃水や葛のむ

双飛

川まよのまおまひやうそ乃所

涼宇

鼓子花 ヒメ

ひねがややまきのまにぬき

下總横領賞  
一馬

轉る花やふお乃乃ま入り

青藍

轉る花や勢ふ乃乃ま入り

涼袋

ひねがやや日陰ハおれと小松東

全

飛等ツやや裂くく簇乃くまおき

芳楚

轉る花やどちくおれも若おハ

也

ひねがやや梅の臉乃おもいとき

可由

轉る花や何まを振くも葉おわ

一鼠

おれがややおまそは乃乃おま

眠石

壺盧花 カハ

ゆらぐはやまおかられくつ

素園

ゆらぐはやおれまこむり

維鳩



ゆふがやや月か入ぐと白れあそ  
臺の魚もやみ草あそぬ魚も魚  
ゆふがややもどけとえれを人の家  
臺の魚もや瀬もあらさげ人も魚

能登孫侍  
越高田  
李 洞

眠棠 大至

匏花 はうか

うぐいす花喜乃盆イシモノやむひさご  
糸も乃数ほごさそぐぬひさごうさ  
ま〜るのながさうぐやむひさご

笑林  
上瀬戸井  
兩杏  
州 志

凌霄花 れいそう

凌霄花 蔓るやういく地乃り

下総佐原  
思 明

向日花 ひかり

日ちりや一むらさきよろ〜ら

笹 叩

草綿花 くさわた

是見よと白もさうげ草跡も  
今乃日一ぬくめさ草もこのたれ  
姑〜待ね〜数や〜る〜れ

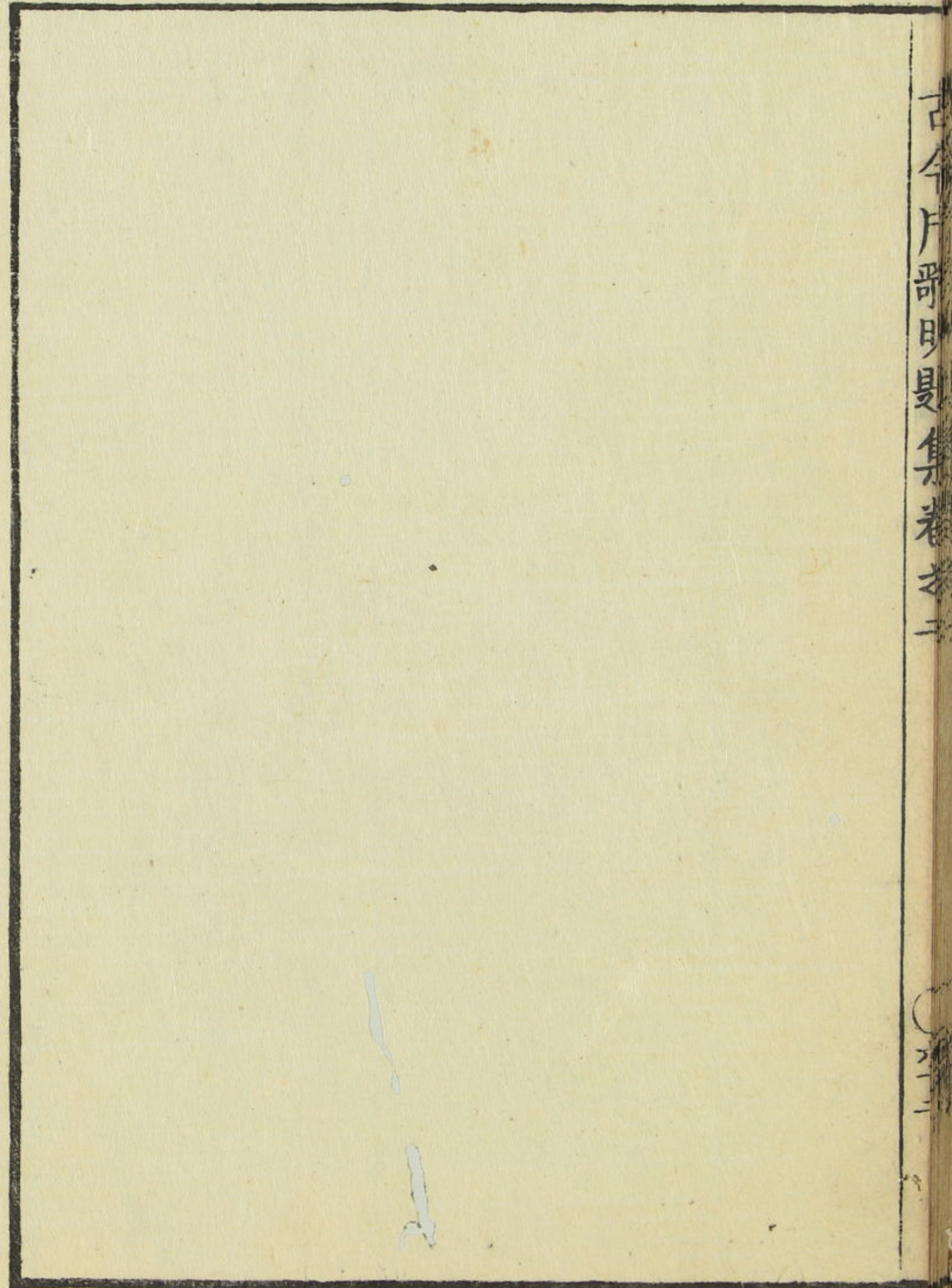
鬼塚  
武用戸  
其 葉  
伊勢山田  
文 史

茅膏菜 ちんご





古今詩賦集卷之二



中  
居



